

まちの話題

平成15年4月開校目指し建設始まる

白南中学校校舎棟建設工事安全祈願祭



十月三十一日、白南中学校校舎棟建設工事安全祈願祭が、茨曾根地区新村地内で行われました。安全祈願祭には、市や市議会、工事関係者ら約七十人が出席。くわ入れなどを行い、工事の安全を祈りました。吉沢市長は「心豊かな創造性あふれる人材の育成が望まれる中、二十一世紀を担う子どもたちの教育は最も重要であり、その環境整備に取り組んでいます。また、新生中学校は、地域交流、文化の発信の場として大きく貢献できるものと確信しています」とあいさつしました。

白根の芸術・文化振興に41団体が加盟

白根市文化協会発会式



十一月十一日、白根学習館ラスペースホールで「白根市文化協会」(風間樞由会長)の発会式が行われ、吉沢市長や同協会加盟団体の各代表など約百人が出席しました。同協会は、市内の文化団体が相互に連携して活発な文化活動を行い、市民に対する芸術・文化振興に貢献することを目的に設立。式では風間会長が「これからは魅力ある活動と運営を心掛けていかなければなりません」とあいさつし、「文化活動に関する啓発に努め、各種諸行事を積極的に行う」などの発会宣言をしました。

おいしく食べよう旬の菊

白根産特産物が学校給食に登場



おいしい「食用菊」いただきます

市では、地元で生産された農産物を地元で消費する「地産地消」を推進しています。この取り組みの一環として、学校給食での地元産食材の使用が行われています。これにより、生産の拡大を図るとともに、子どもたちに特産物への理解を深めてもらうというものです。昨年四月から、学校給食に白根産コシヒカリの使用を開始。今年九月からは、新たに特産物の枝豆やリソグなどが食材として使用され、児童や生徒の間からは「おいしい」と大好評です。



給食が大好きな小林小学校4年生の菅さん

十月二十六日の給食では、白根産の「食用菊」が登場しました。この日使われた食用菊は、全体で十五キロ。ホウレンソウのおひたしの中に使われ、ピンクと黄色の鮮やかな色が目を惹かせてくれます。小林小学校(加藤邦彰校長)の四年生のクラスでは、「いただきます」の元気な声で楽しい給食が始まり、「白根で採れた食用菊はおいしいですか」の問い掛けに、「おいしいです。大好きです」と笑顔で答えてくれました。

地元に触れるウォーキング

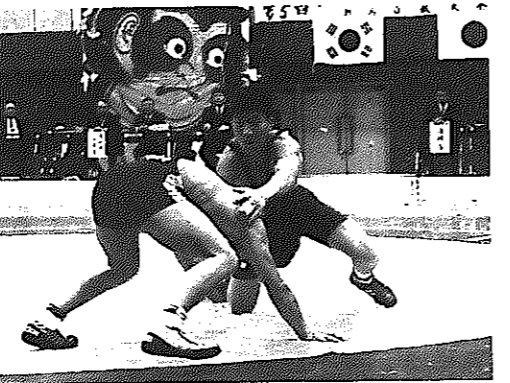
根岸地区公民館 健康づくりウォーキング大会



十一月四日、根岸地区文化祭の開催イベントとして、健康づくりウォーキング大会が行われ、約三十人が参加しました。コースは根岸地区を巡る約四キロ。参加者は小雨が降る中、仮名研究に業績を残した旧根岸村出身の故大矢透氏の石碑や、現在建設中の中部排水機場を見学しました。また、排水機場の吐水槽の外壁には、根岸小学校六年生が「根岸の四季」をデザインした大きな絵が描かれています。参加者からは「うまく描けているね」などの声がかれました。

フリースタイル11階級で熱戦

第5回日・韓高校レスリング交歓競技大会



十月三十一日、カルチャーセンターで、第五回日・韓高校レスリング交歓競技大会が行われました。開会式には、吉沢市長が「平成二十一年に新潟県で開催される第六十四回国民体育大会で、本市はレスリング競技の会場地となっています。この大会を契機として、レスリングが市民のスポーツとして定着し、親しまれることを大いに期待しています」とあいさつ。大会では、韓国選抜と全日本選抜のフリースタイル十一階級の対抗戦が行われ、熱戦が繰り広げられました。

一日店長さんたちが大忙し

「楽市」フリーマーケット・インしろね



十月二十八日、白根学習館で、「楽市」フリーマーケット・インしろねが行われました。これは青年団体「ばなの友」が主催したもので、今年で七回目を迎えます。会場には、手作り品や衣類、家庭用品などが所狭しと並べられ、売り手と買い手の値段交渉が繰り広げられていました。実行委員長の田辺利博さんは「白根学習館での開催は今回が初めて。戸惑ったところもありましたが、過去最高の百三十三の出店があり、盛況でうれいでした」と話してくれました。

農業の活性化に力を発揮

農村地域生活アドバイザー 農業委員会を傍聴



地域の農業に従事している女性が、県から農村地域生活アドバイザーの認定を受けて、地域社会活動等を意欲的に行っています。市内で活躍するアドバイザーは十人。農業活性化のための会議や研修に積極的に参加し、また、自らが主体となり講習会を開くなどして、農村女性の能力発揮による地域の活性化に努めています。十一月二日、活動の一環として、四人のアドバイザーが農業委員会定例総会を傍聴。活発な質疑応答などの様子に耳を傾けました。